

## トラック輸送情報（平成19年11月分）

平成20年2月19日

国土交通省 総合政策局 情報管理部 情報安全・調査課 交通統計室

担当：平野、佐藤 内線28722

直通：03-5253-8346

ホームページ：<http://toukei.mlit.go.jp/>

### 1. 特別積合せ貨物

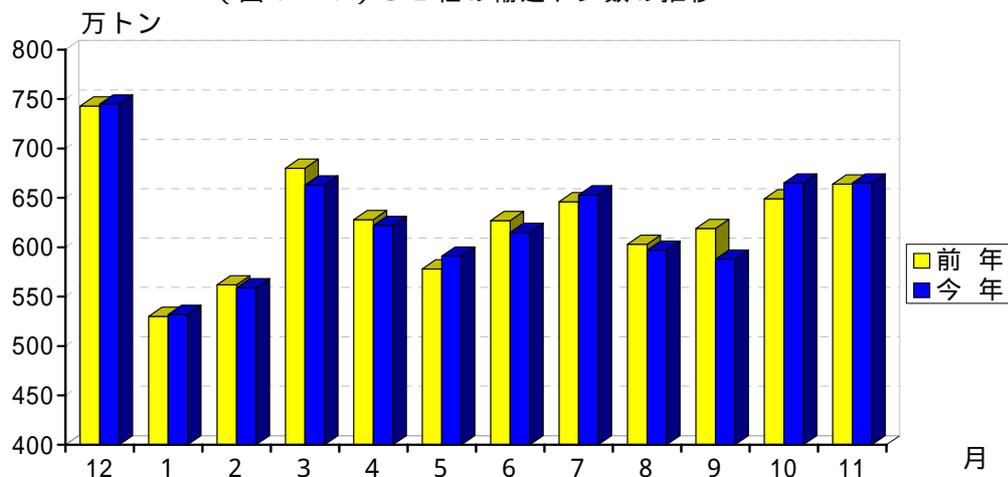
#### (1) 本月の概況

調査対象32社の本月の輸送量は、6,652,081トンで、前月と比べ総輸送量が約4千トン増加したため、前月比100.1%（季節調整済み98.8%）となり、前年同月との比較では、約1万4千トン増加したため、前年同月比100.2%の実績であった。

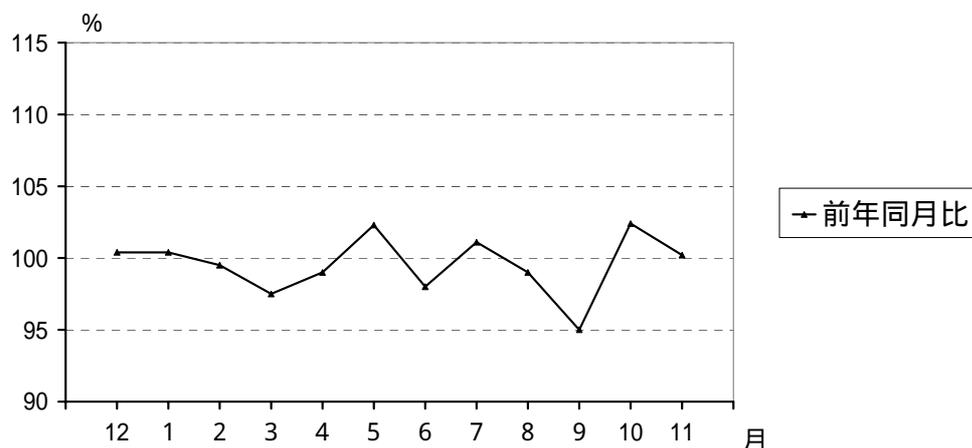
なお、平均稼働日数は23.6日で、前月と比べ1.8日の減少、前年同月と同一の日数であった。稼働1日当たりの輸送量は、281,868トンで、前月と比べ約2万トン増加したため、前月比107.7%となり、前年同月との比較では、6百トン増加したため、前年同月比100.2%の実績であった。

（図1-1、図1-2参照）

（図1-1）32社の輸送トン数の推移



（図1-2）32社の輸送トン数の前年同月比

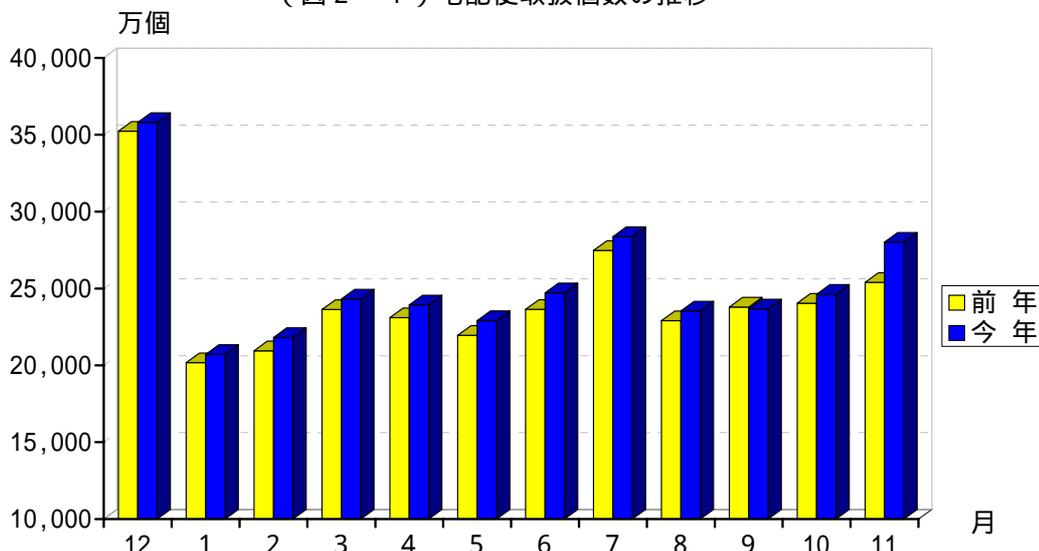


(2) 宅配便の概況

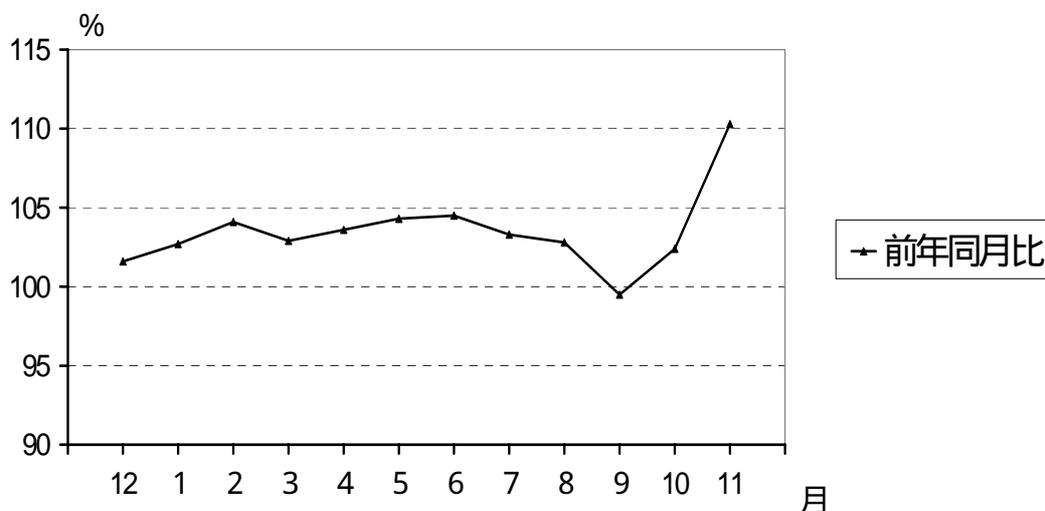
調査対象 19 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、280,102 千個で、前月と比べ 約 3,388 万個増加したため、前月比 113.8% (季節調整済み 107.4%) となり、前年同月との比較では、約 2,612 万個増加したため、前年同月比 110.3%の実績であった。

(図2-1、図2-2参照)

(図2-1) 宅配便取扱個数の推移



(図2-2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 品目別及び地域別輸送状況 (表1参照)

前月と比べると、「金属製品」、「機械」、「化学工業品」等、貨物量の減少がみられる品目が多い中、お歳暮時期の前倒しによる「その他(宅配便・百貨店配送品)」の貨物増により、全体としては微増となっている。地域的には、「金属製品」、「機械」、「化学工業品」が神奈川、関東を中心に減少したが、「その他(宅配便・百貨店配送品)」は全国的に増加した。

前年同月と比べると、貨物量は微増であった。品目別では、「金属製品」、「機械」、「化学工業品」、「食料工業品」で工場・生産地からの貨物減等を要因とする減少回答がみられた。地域的には、「金属製品」が関東地方、中部地方、兵庫、中国、福岡で、「機械」が東京、中部で、「化学工業品」が関東地方、愛知、近畿地方、中国で、「食料工業品」が中部でそれぞれ減少した。

(表1) 品目別増減状況(回答事業者数 32社)

品目	増減事業者数					主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	増減要因
	著増	増	変らず	減	著減			
前 月 に 比 べ て	農水産品	1	1	14	1	1		
	金属製品			19	8		その他の金属製品	神奈川、関東、北陸信越、中国 4
	機械	1		21	5		その他の機械、機械部品	神奈川、関東、愛知 4
	化学工業品			22	8		その他の化学工業品	神奈川、関東、愛知 4, 7
	繊維工業品			25	4			神奈川、関東
	食料工業品	1	4	15	6	1	飲料、その他の食料工業品、加工食品	東北、神奈川、関東
	日用品	1	4	18	6		その他の日用品 書籍・印刷物	
	その他	1	7	16	4		宅配便、百貨店配送品	全国 2, 8
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品		1	13	3	1		中国 4
	金属製品		2	16	8	1	その他の金属製品	関東地方、中部地方、兵庫、中国、福岡 4
	機械	2		20	5		機械部品 その他の機械	東京、中部 4, 7, 9
	化学工業品		1	20	8	1	その他の化学工業品	関東地方、愛知、近畿地方、中国 4, 7
	繊維工業品		1	24	4			
	食料工業品		2	17	7	1	その他の食料工業品	中部 4, 5, 7
	日用品		3	18	7		その他の日用品 書籍・印刷物、衣服、玩具	神奈川、関東、近畿、中国、九州 9
	その他		4	18	5	1	宅配便 百貨店配送品	東京、神奈川

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市圏(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市圏を含む場合はそれらをのぞく府県、九州は沖縄を含む)]単位である。なお、地方運輸局に6大都市圏を含む場合は「～地方」と表記した。

増 減 要 因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

## 2. 一般貨物

### (1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者数 807 社 / 調査対象事業者数 1,067 社）の輸送量は、前月比 98.6%、前年同月比 102.2%であった。

### (表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全 国	北海道	東 北	関 東	北陸信越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
前 月 比	98.6%	97.7%	98.0%	96.7%	100.0%	98.8%	98.9%	99.9%	98.5%	101.3%	98.5%
前年同月比	102.2%	106.7%	97.9%	96.9%	108.6%	99.8%	101.8%	102.5%	97.8%	101.0%	112.9%

### (2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	<p>本月の輸送は、対前月比 97.7%、対前年同月比 106.7%であった。品目別には、工場・生産地からの貨物増等により「鉄鋼」の輸送量が増加したほか、季節的需要増等により「揮発油」、「その他の石油製品」の輸送量にも増加がみられた。一方、収穫期を過ぎた「野菜・果物」や天候の影響により「水産品」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しについては、次月以降、排雪作業の本格化や石油製品の需要増加が見込まれるが、農産物や工事関連資材の輸送量減少の影響が大きく、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
東北	<p>本月の輸送は、対前月比 98.0%、対前年同月比 97.9%であった。品目別には、季節的需要増等により「揮発油」の輸送量が増加したほか、工場・生産地からの貨物増により「化学薬品」の輸送量にも増加がみられた。一方、季節的需要減等により「野菜・果物」、「食料工業品」、「その他の製造工業品」の輸送量が減少したほか、建設関連の需要減等により「鉄鋼」、「セメント」の輸送量にも減少がみられた。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
関東	<p>本月の輸送は、対前月比 96.7%、対前年同月比は 96.9%であった。品目別には、「金属製品」、「その他の石油製品」の輸送量が増加した。一方、工場・生産地からの貨物減等により「紙・パルプ」の輸送量が減少したほか、季節的需要減により「機械」、「化学肥料」の輸送量にも減少がみられた。今後の輸送見通しは、次月は増加傾向、以降は減少傾向と予想される。</p>
北陸信越	<p>本月の輸送は、対前月比 100.0%、対前年同月比は 108.6%であった。品目別には、工場・生産地からの貨物増等により「機械」の輸送量が増加したほか、建設関連の需要増等により「セメント」の輸送量が、季節的需要増等により「その他の石油製品」の輸送量が増加した。一方、季節的需要減等により「穀物」、「砂利・砂・石材」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月は増加傾向、以降は減少傾向と予想される。</p>
中部	<p>本月の輸送は、対前月比 98.8%、対前年同月比は 99.8%であった。品目別には、工場・生産地からの貨物増により「紙・パルプ」の輸送量が増加したほか、季節的需要増等により「日用品」の輸送量にも増加がみられた。一方、季節的需要減により「その他の農産品」、「その他の製造工業品」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月は微増傾向、以降は減少傾向と予想される。</p>
近畿	<p>本月の輸送は、対前月比 98.9%、前年同月比は 101.8%であった。品目別には、建設関連の需要増により「砂利・砂・石材」の輸送量が増加したほか、工場・生産地からの貨物増等により「機械」、「その他の製造工業品」の輸送量が、デパート・スーパーからの貨物増等により「食料工業品」の輸送量が増加した。一方、輸出入減等により「日用品」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
中国	<p>本月の輸送は、対前月比 99.9%、対前年同月比は 102.5%であった。品目別には、季節的需要増により「畜産品」の輸送量が増加したほか、前月に引き続き、「金属製品」の輸送量にも増加がみられた。一方、建設関連の需要減等により「機械」、「セメント」、「その他の窯業品」、「その他の製造工業品」等の輸送量が減少した。「機械」、「セメント」については前月に輸送量が増加した品目であり、その反動で減少に転じているものと思われる。今後の輸送見通しは、お歳暮時期の本格化による輸送量増加が期待される反面、燃料高騰による影響が懸念されるため、次月は横這い傾向、以降は減少傾向と予想される。</p>
四国	<p>本月の輸送は、対前月比 98.5%、対前年同月比は 97.8%であった。品目別には、季節的需要増等により「野菜・果物」、「揮発油」等の輸送量が増加した。一方、季節的需要減により「その他の化学工業品」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月は増加傾向、以降は減少傾向と予想される。</p>
九州	<p>本月の輸送は、対前月比 101.3%、対前年同月比は 101.0%であった。品目別には、建設関連の需要増等により「砂利・砂・石材」の輸送量が増加したほか、季節的需要増等により「セメント」、「食料工業品」の輸送量にも増加がみられた。一方、工場・生産地からの貨物減等により「穀物」、「野菜・果物」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月は増加傾向、以降は減少傾向と予想される。</p>
沖縄	<p>本月の輸送は、対前月比 98.5%、対前年同月比は 112.9%であった。品目別には、季節的需要増等により「その他の農産品（花卉）」、「取り合わせ品（先島行き本土からの中継貨物でクリスマス・正月用品）」の輸送量が増加した。一方、「その他農産品（葉たばこ）」、「食料工業品（冷凍品）」、「取り合せ品（引っ越し荷）」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>

(3) 運輸局別、品目別増減状況(対前月比)

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

品目	運輸局	北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
		増	減	増	減	増	減	増	減	増	減	増
1. 穀物	増		2		1			1			1	5
	減		4		3			1		2		10
2. 野菜・果物	増	2	1		1				3	2		9
	減	3	3		1			1		4		12
3. その他の農産品	増	5		1							1	7
	減	4				1		1			1	7
4. 畜産品	増							2				2
	減		1						1			2
5. 水産品	増		1					1				2
	減	3	2									5
6. 木材	増	5	1	1						1		8
	減	4	3		1		1			2		11
7. 薪炭	増											
	減											
8. 石炭	増	1			1				1			3
	減		1					1				2
9. 金属鉱物	増											
	減		1									1
10. 砂利・砂・石材	増	9	1		1		2			4		17
	減	7	1		2			1				11
11. 工業用非金属鉱物	増											
	減		2									2
12. 鉄鋼	増	2					1	2				5
	減		2				1	2	1	3		9
13. 非鉄金属	増											
	減				1							1
14. 金属製品	増	1		1	1		2	3		1		9
	減				1	1	2	1		1		6
15. 機械	増		1		3		4		1	2	1	12
	減	1		1			2	3		2		9
16. セメント	増	3			3			2	1	5		14
	減	3	4					4		3		14
17. その他の窯業品	増						2	1				3
	減		1		1			2		1		5

品目	運輸局	北海道	東北	関東	北陸 信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
		18. 揮発油	増	2	2		1		1		1	
	減											
19. その他の石油製品	増	3	2	2	3			1		2		13
	減	1			1					1		3
20. コークス・ その他の石炭製品	増				1							1
	減											
21. 化学薬品	増		2						1			3
	減				1			2		1		4
22. 化学肥料	増		2		1				1	1		5
	減		2	1			1	1				5
23. その他の化学工業品	増						1			2		3
	減								1			1
24. 紙・パルプ	増	1	2			1				3	1	8
	減		2	2	1		1			2		8
25. 繊維工業品	増						1			1		2
	減	1				1						2
26. 食料工業品	増	1			2		4	3		2		12
	減		5				3	3			2	13
27. 日用品	増		2			2	1		1	2		8
	減						3				1	4
28. その他の製造工業品	増						3			1		4
	減		2	1		1		2		2		8
29. 金属くず	増	1					1					2
	減											
30. その他のくずもの	増											
	減											
31. 動植物性飼・肥料	増	1								1		2
	減	2								2		4
32. 廃棄物	増	1						1		1		3
	減							2		2		4
33. 輸送用容器	増	1					1					2
	減		1							1		2
34. 取り合せ品	増		1			1		1		1	1	5
	減					1		3		1	2	7
35. その他	増			2	1	1	1	3	1	5		14
	減			3	3	1	2			2		11